

桐生商工だより

2022

1

799号

KIRYU Craft Story

Landscape

風景・自然

吾妻山

桐生市の北西部に位置する標高 481m の吾妻山は、鳴神山、根本山、茶臼山など桐生を囲む山々のなかでも、市街地からのアクセスも良く毎日登る人も多い桐生登山の聖地です。山頂からは桐生の市街地をはじめ関東平野を一望でき、富士山や東京スカイツリーが見える日もあります。鳴神山に至る約 10km の縦走路は通称「桐生アルプス」とも呼ばれ、幅広い登山者が桐生の自然に馴れ親しんでいます。

未だにコロナの収束が見えないまま迎えた新年。桐生のまちが真に明るい未来を描けるよう、今年も桐生商工会議所は地域経済のコロナ克服へ全力で取り組んでいます。

KIRYU Craft Story (<https://www.kiryucraft.com>)



Topics

初山会頭年頭のあいさつ
桐生商工会議所令和3年のあゆみ



令和3年度
桐生商工会議所
スローガン

1. めざせ、小さな世界都市
2. 桐生のまち全体のブランド化を進めよう
3. 会員増強 2,000 会員の達成

Contents

2022.01

初山和久 桐生商工会議所会頭 年頭挨拶	1
荒木恵司 桐生市長／群馬県商工会議所連合会会長 年頭挨拶	2
日本商工会議所会頭 年頭挨拶	3
第3回新型コロナウイルス感染症 経営に対する影響についてアンケート結果報告	4
議員大会決議事項を地元国会議員に陳情／商業部会 視察研修 実施／青年部 経営勉強会 開催	5
関係団体等の新年会開催日程／決算書・申告書作成指導会 案内	6
桐生商工会議所 役員・議員等名刺広告（年賀広告）	7～10
桐生商工会議所 関係団体 年賀広告	11
桐生商工会議所 令和3年の歩み	12・13
両毛5市ネットワークコーナー（各商工会議所会頭年頭挨拶）	14・15
インフォメーションコーナー	16

Pickup Data

会員数

1,989人
(+6)

12/1現在（特別会員を含む）。

人口 106,529人（- 148）

世帯数 49,520世帯（- 30）

商工業者数 4,773人（± 0）

人口、世帯数は11/31現在、商工業者数は平成28年経済センサスより算出。

有効求人倍率（10月）

前月比

◆桐生 1.41（+ 0.04）

◆群馬県 1.37（+ 0.01）

◆全国 1.15（- 0.01）

桐生公共職業安定所調べ



明けましておめでとうございます。
今年も私たちは、地域の皆様に
優しさと誠実を尽くしてまいります。
どうぞよろしくお願い致します。



お客様が安心してご利用
いただけるように「感染
予防対策」を心掛けて
おります。

花一輪のやさしさを...

セゾホール 板場

☎0277-52-5571
〔本 社〕桐生市広沢町1-2915
〔ホール〕桐生市相生町1-628-10



二〇二二年を 迎えて



桐生商工会議所
会頭 山和 久

2022年の年頭にあたり、桐生商工会議所会員の皆様に謹んで新年の挨拶を申し上げます。

さて、送りました2021年は新型コロナウイルスの感染拡大が2年目になっても収束せず、8月から9月にかけての緊急事態宣言では群馬県にも発令され、地域経済は引き続き大きな打撃を受けた年となりました。開設二年目の「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」には数多くの相談が寄せられ、資金繰りや各種補助金・助成金・給付金・支援金などへの対応、新規創業や事業の再構築など多様化するニーズに応えるべく専門相談体制を強化して、事業者に寄り添いながら中小・小規模事業者の持続的発展に向けて尽力してきました。

コロナ克服の切り札とされるワクチン接種には、会員事業所の従業員等を対象にした団体接種に取り組み、県央ワクチン接種センターを活用させていただき、70社670人を超える方々の接種を行うことができました。令和3年度の事業展開に当たり、「コロナ禍での中小・小規模事業者への徹底した支援」を冒頭に掲げ取り組んでまいりましたが、まさにコロナ対応を中心とした一年でありました。

一昨年に桐生商工会議所創立80周年を迎え、コロナ禍のため開催できなかった記念式典については、再々延期を経てようやく今年2月に開催させていただくことになりました。これまでも幾多の困難を乗り越え、歴史を重ねてきた先人たちの業績に敬意を表し、未来につながる式典にしたいと思っております。

地域活性化に向けての各種イベントも中止が相次ぎ、夏の一大催事である桐生八木節まつりも事実上無開催となりました。しかし、当所青年部が40周年事業として取り組んだ「桐生イノベーションエキスポ」はビジネスプランの発表を通して、若いイノベーターを育てる画期的な試みとなり、また、2年ぶりに開催された桐生ファッションウィークはイベントの数は少なかったものの、まちの賑わいが戻り、アフターコロナに向けて明るい展望が開けました。

部会・委員会をはじめとする会議所活動も緊急事態宣言が明けてからは通常の運営に戻りつつあり、コロナ禍で顕在化してきた桐生地域の課題などについて、活発な議論を交わしていただき、より実効的な政策提言としてまとめていきたいと思っております。

私が会頭に就任以来、掲げさせていただいております3つのビジョン、ひとつ目の「会員増強2000件達成」については職員の事業者に対するきめ細かなサポートが会員獲得につながり、長年の悲願達成が秒読み段階となっております。ふたつ目の「めざせ、小さな世界都市」は新たな顕彰制度を創設し、80周年記念式典の席上で表彰式を行い、小さな世界企業の拡大と産業界の発展に寄与していきたいと思っております。三つ目の「桐生のまち、全体のブラ

ンド化」については、桐生マスクのブランド化から始まったプロジェクトである「桐生クラフトストーリー」をベースに、ものづくりの風土としての桐生から創られる優れた生産品をブランド化していく仕組みを構築していこうと考えております。それとともに民間主導による観光まちづくりにも役員・議員をはじめとする関係者の意見をいただきながら取り組んでまいりたいと存じます。コロナ禍のなかで力を蓄え、新しい年にはビジョンの具現化を通して発展・拡大していけるよう努力していきます。

2022年の幕が開けましたが、新型コロナウイルス感染症はオミクロン株という新たな変異株が発生するなど今なお先行きは不透明です。しかし、桐生商工会議所は桐生地域の将来を輝けるものとして未来に伝えていく使命を課せられています。新型コロナウイルス禍の克服は全世界共通の願いですが、桐生商工会議所はこの未曾有の試練のなかで管内事業所の事業継続に力を注ぎ、人口減少や少子高齢化、事業継承や生産性向上など地域に立ち塞がる諸課題の解決に取り組み、持続可能な桐生の産業界を創っていくことが大きな責務であると考えています。

桐生の新しい未来を切り開いていくために、会員事業所をはじめ役員・議員・幹事、青年部、女性会の皆さまと職員の力を結集し、国・県・市並びに関係機関や各種団体とのより強固な協調体制を図りながら、力を尽くしていく覚悟であります。皆様におかれましては、健康に留意していただきながら、それぞれのお立場で事業の繁栄に精進され、新しい年が桐生市はもとより、各業界の限らない発展につながる年になりますことを祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



桐生市長
荒木 恵司

明けましておめでとうございます。桐生商工会議所会員の皆様におかれましては、健康やかにお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行下におきまして、本市では、市民の皆様への速やかなワクチン接種、地域経済の活力回復を最優先課題に掲げ、関係機関との連携のもと、各種対策に力を注いでまいりました。

とりわけ経済対策では「新型コロナウイルス経済対策室」を新設し、過去最高のプレミアム率50%を設定した商品券発行事業や、SDGs推進型事業者応援事業、テイクアウト容器購入支援事業などを展開してまいりました。

こうした中、昨年には桐生市制施行100周年・水道創設90周年を迎え、この節目を市民の皆様と祝うため、子どもたちの職業体験イベント

「子どもがつくるまちミニきりゅう2021」をはじめとする様々な記念行事を実施いたしました。

本市の最重要課題である人口減少問題に対しましては、課題解消への取り組みを更に加速するため、公募委員の皆様などをお迎えしたワーキンググループを設置し、有効な施策の立案に向け議論を行っております。

令和4年には、私の市長就任4年目を迎えますが、首都圏からの玄関口である新桐生駅では、エレベーター設置を含むバリアフリー化が完了し、利便性が向上いたします。また「未来へはばたけ山田製作所桐生が岡動物園」におけるレッサーパンダ舎の導入や、小中一貫の義務教育学校「黒保根学園」の開校、重伝建地区公開活用施設の保存修理などを実施してまいります。

近年、中心市街地などでは空き店舗等を活用した創業者が増え、にぎわい創出が図られております。加えて、様々な媒体を活用した広報活動により、メディアでの露出機会も増加し、日本の伝統技術にスポットを当てたBS日テレの特別番組では、桐生の誇る伝統工芸が紹介されるほか、本町四丁目において、番組で

紹介される技術を体験できる「ニッポンの神業ミュージアム」が開設される運びとなりました。こうした取り組みを通じ、本市の魅力がより一層広範に発信されるものと期待しております。

今後、総合計画に掲げる将来都市像「感性育み未来織りなす粋なまち桐生」を、市民の皆様と共に感じ、共に創ってまいりますので、皆様には変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年にあたり、皆様の益々のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げます。



(一社)群馬県商工会議所連合会
会長
曾我 孝之

令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から商工会議所の事業活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年末には、ワクチン接種効果と国民一人一人の感染予防努力により、新型コロナウイルスの感染拡大がようやく落ち着いたものの、それまでの間、地

域経済を底支えし、雇用確保を担っている中小企業にとつて、未曾有の影響を受け続けた1年であり、それぞれが懸命にコロナ対応に取り組んだ年でもありました。

私ども商工会議所といたしましては、中小企業の資金繰りや補助金活用など、各種経営相談により伴走支援させていただくとともに、国・県・市等行政からの様々な支援策の周知・活用支援を積極的に行い、困窮する事業者の皆様にも、丁寧で迅速な対応を心がけてまいりました。

また、コロナ収束に向けての大きな鍵とされるワクチン接種に関しましては、群馬県のご尽力により、多くの県下会員事業所の役員、従業員の皆様方に共同接種という形で迅速に接種いただくことが出来ました。接種を受けられた方々からは、感謝の言葉を数多くいただき、日常生活回復への流れが加速してきたことを実感しております。

この流れを加速化させながら、傷んだ中小企業経営や地域経済の立て直し、将来の持続的な成長を目指した「新たな経済対策」が昨年末に閣議決定され、経済再開に向けた動きを活性化させる方向性が明示されたものと考えており

ます。

また政府からは、「成長と分配の好循環」の実現に向けた戦略と対策が示されましたが、分配原資となる付加価値を拡大させる政策が不可欠であると考えており、その鍵は中小企業の生産性向上であります。サプライチェーンや地域コミュニティを支える中小企業の生産性や付加価値創出力を高めていくことが経済社会全体の生産性を高め、持続的な経済成長に繋がると考えております。

国・県・市等には、中小企業のデジタル化による生産性向上や、ビジネス変革、事業再構築、創業、事業承継・再生への挑戦を強力に後押ししていただくとともに、私ども商工会議所も引き続き、中小企業の挑戦を全力で支援してまいり所存であります。

まだまだ厳しい環境下が予想されますが、本年も変わらぬ関係各位のご支援ご協力を心からお願ひ申し上げますとともに、このような時だからこそ地域の絆を深め皆で邁進してまいりたいと存じます。

結びに、本年が皆様にとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。



年頭所感



日本商工会議所
会 頭
三 村 明 夫

地域とともに、

未来を創る

明けましておめでとうございます。

2022年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨秋以降、国内では新型コロナウイルス新規感染者数が著しく減少し、本格的な日常生活回復に向けた動きが加速化する中で新年を迎えられたことを皆さまと共に喜びたいと思います。

海外での感染再拡大などもあり、先行きの見通しは予断を許さないものの、商工会議所は、本年を感染防止と社会経済活動をより高い次元で両立させる年と位置付け、地域経済ならびにそれを支える事業者の皆さまの発展のため、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、コロナ禍で急激に落ち込んだ経済もようやく回復基調に転じましたが、依然力強さを欠き、業種や規模によ

り回復度合いが異なる「K字型回復」の状況が続いています。国民全体を覆う閉塞感を真に打開するためにも、昨年

政府が決定した「新たな経済対策」の着実な実行はもとより、国民が日本の将来について明るい希望を抱けるような、新たな成長と発展への道筋を明確に示す必要があります。

第2次岸田内閣の発足以降、政府は「新しい資本主義」を掲げ、「成長と分配の好循環」「コロナ後の新しい社会の開拓」に向けて議論を重ねてきました。私はコロナ禍を通じて、「強く豊かな国でなければ有事の際に国民を守ることができない」と改めて認識しましたが、日本を危機に對するレジリエンスを備えた強い豊かな国にするためには、コロナ禍で明らかになった社会課題の解決と経済成長を車の両輪として同時に実現することが必要です。

少子高齢化に向かう人口動態等、様々な構造的課題を抱えるわが国が、社会課題を解決すると同時に経済成長を図るためには、一國の豊かさを示す総合的な指標である「1人当たりGDP」の引き上げを国全体の目標として掲げ、あらゆる分野での生産性向上と潜在成長率の底上げを図る

必要があります。特に、雇用の約7割を占める中小企業の生産性を引き上げることは、ひいてはわが国全体の生産性の向上につながる重要な課題です。他にも、経済・医療安全保障、成長を支える基盤である人材育成や科学技術研究への投資、デジタル化の推進、

「S+3E」の原則を踏まえたバランスの取れたエネルギー政策と技術革新等が不可欠です。通商面では、TPPやRCEPの成果を踏まえ、同じ考えを持つ国々との連携を深めつつ、引き続き日本が自由貿易体制推進において主導的な役割を果たすべきです。

こうした課題認識を踏まえ、われわれ商工会議所は本年、特に以下3点について重点的な取り組みを実行してまいります。

第一は「デジタル活用による中小企業の生産性向上」です。これまでも幾多の困難を乗り越えてきた日本の中小企業は、様々な変化に柔軟かつ迅速に対応できる潜在的な変革力を有しています。中小企業経営へのデジタル活用は、生き残りをかけた自己変革の有力な手段であり、コロナ禍で加速したデジタル化の流れを、業務効率化に留まらず、越境EC等を通じた販路拡大、

さらには業態転換などのビジネス変革にまで広げる経営力向上の柱として強力に支援してまいります。

第二は「事業再構築、取引適正化等を通じた付加価値の向上」です。商工会議所による伴走型の経営相談体制の強化により、事業承継や事業の再生・再構築を後押しし、経営の効率化や付加価値創出力の向上を強力に支援してまいります。また、大企業と中小企業が構成されるサプライチェーン全体で、創出した付加価値やコストをフェアに分かち合う取引適正化も不可欠です。登録企業が4千社を超えた「パートナーシップ構築宣言」は、官民連携でこれを実現するための有力なプラットフォームであり、今後は宣言の実効性をより高め、中小企業の付加価値向上、ひいては日本全体の成長力の底上げに寄与してまいります。

第三は「地域ぐるみの地方創生の推進」です。東京一極集中と言われますが、実際には一次産業の成長産業化、インフラ整備を通じた製造業の集積、インバウンド需要の取り込みなどを進めてきた地方圏の方が、東京圏よりも高い経済成長率を実現しております。コロナ禍を契機としたさ

らなる地方分散化の動きもみられる中、政府の「デジタル田園都市国家構想」も踏まえ、こうしたモメンタムを地方創生の加速化につなげていくことは、レジリエントな日本の国土形成のためにも不可欠です。商工会議所は、地域総合経済団体として地域の多様な主体との連携を深め、地域ぐるみの地方創生をさらに後押ししてまいります。

最後に、日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、次の100年に向けて、中小企業の活力強化と地域活性化による日本経済の持続的な成長の実現を目指し、515商工会議所と連合会、青年部、女性会、海外の商工会議所とのネットワーク力を最大限活用し、新しい時代を皆さまと切り拓いてまいりたいと思います。引き続きのご支援、ご協力をお願いして、私の年頭のあいさつとさせていただきます。



第3回 新型コロナウイルス感染症 経営に対する影響についてのアンケート 結果報告

実施期間 令和3年10月1日～10月29日

調査件数 1,972件

回収数 210件(回答率10.6%)

2年目のコロナ禍 収束まだ遠く

当所は新型コロナウイルスが管内事業所に及ぼす影響を調査するため、「第3回新型コロナウイルス感染症経営に対する影響についてのアンケート」を昨年10月に実施した。

このアンケートは令和2年3月と同10月に実施。感染症を取り巻く状況は、ワクチンの浸透や緊急事態宣言の発令など一進一退が続くなか、前回調査から一年が経ったことから3回目の調査を行った。今回、その概要を報告する。

回収率は10.6%で、業種別では「卸売・小売業」と「飲食・サービス業」から多くの回答を得た。別表Aを参照。

経営への影響を尋ねた設問では、「未だに影響がある」は74%と別表Bの通りで、前回調査での「影響がある」75%とほぼ同じ割合となった。

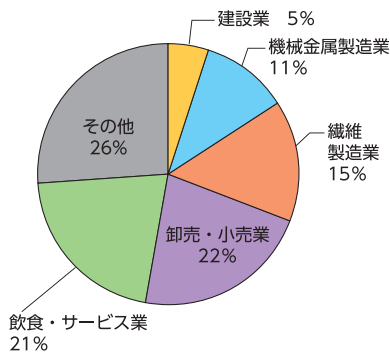
た。依然として厳しい状況が続くものの、「回復している」は11%、「影響はない」は14%と、一部でコロナを克服した事業所もいることが垣間見えた。

続いて、前年同期（7～9月）と比較した売上の変化について質問。「減少している」は52%、「変化なし」は28%、「増加している」は20%だった。

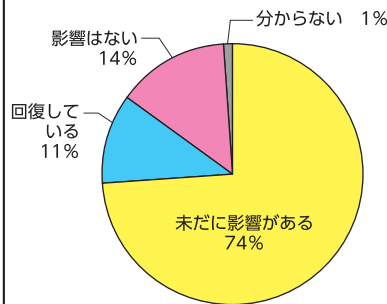
既にコロナ禍にあった前回の調査から「変わらない」と回答した事業者は、コロナ前と比べて何らかの影響を受けていることが推測される。「減少している」と合わせると全体の約8割となり、大半がコロナで経営に課題を強いられていることが伺えた。

コロナウイルスが経営に及ぼす具体的な影響を尋ねた結果（複数回答可）では、「売上（受注）の減少」が150件で、

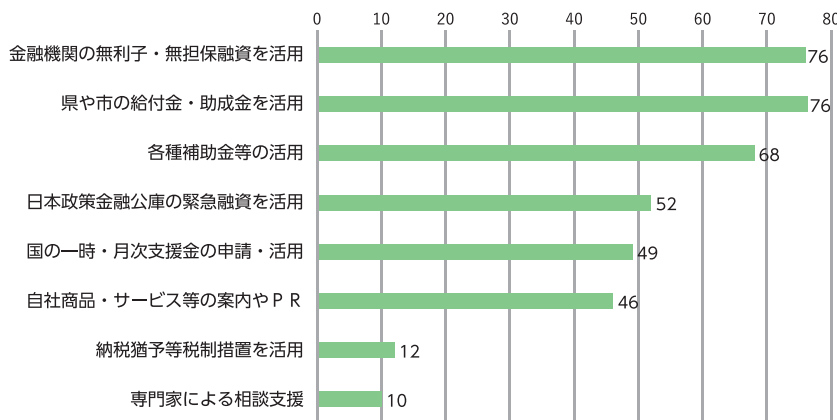
A 業種別回答割合



B 経営への影響



C 経営に対する影響への対応策



前回調査と同じく圧倒的多数となった。次いで多かったのは、「仕入価格の上昇」で73件。前回の21件からは大きく増加している。「仕入材料・商品等」の遅延・困難」と「従業員の勤務形態・体制の変更」がともに40件、「予約のキャンセル・発注の取り消し」が37件だった。また、「その他」には、「新規商談機会の減少」をはじめ、「イベントや対面接客の減少」、「展示会の中止」など商談の場が持てない実情が訴えられた。

経営に対する影響への対応策では別表Cの通り、「金融機関の無利子・無担保融資」、「県や市の給付金・助成金」、「各種補助金の活用が上位となった。当所に対する意見・要望のなかにも、「支援金や助成金、補助金について随時情報を教えてほしい」という声が多く寄せられ、業種・業態に係わらず幅広い支援制度が求められていることが浮き彫りになった。

当所相談窓口では、感染症対策に係る各種施策や補助金について随時相談を承っておりますので、お気軽にご相談ください。

▽電話 0277・45・1201



地元国会議員への陳情会(ホテルメトロポリタン高崎)

地元国会議員に陳情

議員大会決議事項を提出

群馬県商工会議所連合会（会長・曾我孝之前橋商工会議所会頭）は、9月に前橋市で開催された第62回群馬県商工会議所議員大会の決議事項について、11月27日（土）にホテルメトロポリタン高崎で国会議員への陳情会を開催し陳情書を提出した。

当日は地元選出の国会議員7人、県内各会議所会頭、専務理事ら21人、群馬県・鬼形尚道産業経済部長が出席した。今回出席した国会議員は次の通り（順不同）。

衆議院議員 井野俊郎氏・福田達夫氏・尾身朝子氏・福重浩氏。

参議院議員 中曽根弘文氏・清水真人氏・羽生田俊氏。

陳情会では、曾我会長のあいさつの後、県連の坂庭秀専

務理事が概要を説明、各会議所の会頭が各地域の実情を踏まえ個別陳情を行った。

当所の榎山和久会頭は、長年の懸案である国道50号線的全線4車線化について強く要望した。全体ではコロナ禍による中小・小規模事業者の厳しい状況への対応を一樣に求めた。

これに対して国会議員側は、大型補正予算での対応や中小企業への視点をより強化した政策展開、地域と中小企業が元気になる取り組み、アフター・ポストコロナのステージに移行するための対応など、前向きな発言を行っていた。

青年部経営勉強会

当所青年部（坂本崇会長）の経営勉強会が、11月24日に当所ケービックホールで開かれ、青年部のメンバーら50名近くが参加した。

この勉強会は地域で活躍する経営者の革新的な取り組みを学ぶことで、メンバーの自社経営に役立てようとするもの。今回は染色整理業の（株）アート代表取締役社長・伊藤久夫氏が、「原点を見つめ、発想を転換」と題して講演した。

商業部会視察研修

鹿沼・会津若松などを訪問

当所商業部会（鏑田実部会長）は今年度の部会視察研修を11月24・25日の2日間実施し、栃木県鹿沼市と福島県会津若松市などを視察した。この研修はコロナ禍であること

も考慮し、比較的近隣の特徴的な商店街振興策やまちづくりを視察しようと企画。部会議員・幹事ら10人が参加した。初日は栃木県鹿沼市の中心地で、空き店舗を改装した飲食店などが集積する根古屋路地を訪問。この地区では開業体験イベントを通じて若者の創業が盛んで、一行は地域を

アート伊藤社長が講演

伊藤社長は自社で取り扱う蚕やシルクに改めて着目し、シルク成分入りの石鹸を開発。これまでの取り組みを活かした新分野への挑戦に、聴講者は熱心に耳を傾けていた。

なお、勉強会の様子はYouTubeでライブ配信され、現在はいアカイブを視聴することができます。

URL = <https://youtube.com/akb5PoDRTSA>



視察に参加した商業部会の議員・幹事

あげた若者を呼び込む仕組みに感心しつつ、軒を連ねる魅力的な店舗に興味津々だった。続いて訪れた、「まちの駅新鹿沼宿」では、福田義一鹿沼市副市長と面会し、鹿沼市のまちづくりなどについて情報を交換した。

2日目は宿泊した福島県会津若松市の七日町通りを訪れた。昭和30年ごろまで会津一の繁華街として賑わった同地区は、一旦の衰退を経て大正浪漫溢れる通りとして復活。コロナ前の観光客数は年間30万人近くだった。一行は蔵や洋館が並ぶノスタルジックなまち並みを歩き、桐生の歴史エリアとも比べながら熱心に視察していた。

両日ともコロナ下における観光地の様子を実際に視察し、有意義な研修となった。

企業間の人材マッチングの支援を行っています！

- 人材を採用したい企業に対しては、現在登録されている人材リスト等から、最適な人材情報の提供と紹介をいたします。
- 人材を他の企業等へ送り出したい企業に対しては、ご相談のうえ、受入企業のあっせんをいたします。
- 雇用確保措置終了予定者の登録（キャリア人材バンク）による高年齢退職者の再就職支援をいたします。



- 企業が様々な事業により雇用調整や事業所閉鎖等で人員整理等（希望退職者募集や解雇など）を行う場合、あるいは事業所の移転や業務の変更などに伴い離職者が発生する場合は、ご相談のうえ理離職予定者の希望により在職中の登録をいただき、離職後一年間、再就職の支援をいたします。

無料職業紹介事業許可番号
13-ム-030002

費用は一切無料です、お気軽にご相談ください。



公益財団法人 産業雇用安定センター群馬事務所

〒371-0844 前橋市古市町1-50-1（新前橋駅前 吉野屋ビル3F）TEL.027-255-2586 FAX.027-280-3402



関係団体等 新年会開催日程

- 【上毛新聞社新春講演会・新年の集い】
▽日時 1月5日（水）午後2時
▽会場 ベイシア文化ホール
- 【桐生市繊維団体合同新年会】
▽日時 1月11日（火）午後4時
▽会場 桐生地域地場産業振興センター
- 【一般社団法人桐生青年会議所新年互礼会】
▽日時 1月14日（金）午後6時
▽会場 美喜仁桐生文化会館（桐生市市民文化会館）小ホール
- 【群馬県商工会議所連合会新年互礼会】
▽日時 1月18日（火）午前11時
▽会場 前橋商工会議所会館 サクラ
- 【桐生商工会議所女性会新春祝賀会】
▽日時 1月18日（火）午前11時30分
▽会場 桐生グランドホテル
- 【あしぎん経友会新春セミナー】
▽日時 1月21日（金）午後4時15分
- ▽会場 美喜仁桐生文化会館（桐生市市民文化会館）
- 【笠懸町商工会新年互礼会】
▽日時 1月21日（金）午後5時
▽会場 桐生グランドホテル
- 【桐生労働基準協会・産業安全衛生祈願祭並びに新年互礼会】
▽日時 1月26日（水）午後3時
▽会場 桐生商工会議所ケイビックホール
- 【桐生商工会議所青年部新年会員交歓会】
▽日時 1月28日（金）午後6時30分
▽会場 桐生商工会議所ケイビックホール

ご案内した新年会日程は新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、中止を含めて開催内容が変更になる場合があります。何卒ご了承ください。



7日に

新春互礼会

コロナ対策を徹底し開催
令和4年桐生商工会議所新春互礼会が、1月7日（金）午後4時から会議所会館6階ケイビックホールで開催される。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、開催直前に中止した。2年ぶりに開催する今回は、役員・議員を中心に招待する来賓も限定する。

また、懇親会に代えてアトラクションを用意し、新年の幕開けを祝う予定。

決算書 指導会 申告書作成

令和3年分決算書と申告書の作成指導会を開催します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避けるために事前予約制とさせていただきます。

- 日時 令和4年3月1日（火）・2日（水）
午前9時30分～午後4時
- 開催場所 桐生商工会議所6階
ケイビックホール
- 対象者 桐生市内の青色申告者（個人）
- 申込期間 令和4年2月1日（火）～2月10日（木）
- 問合せ先 桐生商工会議所商業課
☎0277-45-1201

*詳細は桐生商工だより2月号でご案内します

桐生商工会議所

創立80周年記念式典 第14回会員感謝の集い

日時 令和4年2月25日（金）
受付：午後3時・開会：午後4時

会場 美喜仁桐生文化会館シルクホール

会員の方ならどなたでも無料でご参加いただけます

第1部 創立80周年記念式典

午後4時～午後5時

- 「平成23年～令和2年の歩み」映像上映
- 「小さな世界都市大賞」発表・表彰式

第2部 会員感謝の集い

午後5時～午後6時

- 「太鼓白楽」「舞ダンスファクトリー」共演
- 豪華賞品が当たる!「福引抽選会」開催!

詳細は本誌同封の折込チラシを参照ください。



お客様に地域で一番愛される事務所になる

桐生中央税理士法人
有限会社 山上会計事務所

営業時間 8:30～18:00（土・日・祝休）
〒376-0027 群馬県桐生市元宿町9-26

関東信越税理士会 桐生支部
代表税理士 横山 嘉孝
税理士 高島 佳正
税理士 松井 孝峰

TEL.0277-46-1122
FAX.0277-22-0338



淡麗、辛口、男の酒
清酒 赤城山

近藤酒造株式会社

〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1002
TEL.0277-72-2221 FAX.0277-73-1603
<http://www.akagisan.com>

未成年者の飲酒は法律で禁じられています。



武信幸 常議員 (株)ミツバ 代表取締役副社長 執行役員	鎗田実 常議員 (株)矢野 代表取締役社長	菅谷武 常議員 (株)ジャパン アイデアセンター 代表取締役	朝倉泰 常任相談役 朝倉染布(株) 取締役会長	石原雄二 専務理事	細山和久 会頭 (株)サンフード 代表取締役会長
立澤俊明 常議員 (株)アスパックス 代表取締役社長	市川導宏 常議員 (株)市川鉄工 代表取締役会長	竹内靖博 常議員 (株)シロキヤ 代表取締役	北川鮎一郎 相談役 北川設計 所長	佐藤富三 名誉会頭	宮地由高 副会頭 (有)青柳 代表取締役会長
藤掛和男 常議員 (株)トーワ 代表取締役社長	岡田哲夫 常議員 フジハツ工業(株) 代表取締役社長	田中栄一 常議員 日本ゼウス工業(株) 代表取締役社長	A vertical decorative banner featuring a branch with white and red cherry blossoms and green leaves, set against a light background.	山口正夫 名誉会頭 (株)トヨタプロダクツ 代表取締役社長	津久井真澄 副会頭 桐生信用金庫 理事長
大澤邦博 常議員 桐生トリコット(株) 取締役会長	小倉康宏 常議員 小倉クラッチ(株) 代表取締役社長	茂木理亨 常議員 (株)モギカパン店 代表取締役		石坂光紀 名誉議員 群馬馬銀行 桐生支店 支店長	笠原康利 副会頭 (株)笠盛 代表取締役会長
黒澤昇 常議員 (株)黒沢レース 代表取締役社長	岸本一也 常議員 (株)山田製作所 代表取締役社長	山本豊 常議員 (株)日進 取締役会長		養田隆 常任相談役 (株)マルキン 代表取締役会長	藤生五郎 副会頭 (株)桐生ソウインク 取締役会長



議員 北川 貴久  (有)フジヤ 代表取締役	監事 柳澤 彰  柳澤彰 税理士事務所 所長	常議員 坂入 勝  (株)美喜仁 代表取締役	常議員 吉田 栄佐  (株)吉田組 代表取締役会長	常議員 押見 新一郎  押見会計事務所 所長	常議員 牛腸 章  桐生絹織(株) 相談役
議員 佐瀬 守男  (株)ホットランド 代表取締役	議員 相場 久男  (有)相場 代表取締役	常議員 野沢 八千夫  (株)フライングガーデン 代表取締役会長	常議員 吉野 雅比古  桐生建設(株) 代表取締役社長	常議員 塚田 秀俊  桐生支店 支店長	常議員 篠田 一  丸中(株) 代表取締役
議員 高野 智弘  (株)桐生山葵問屋 高野商店 代表取締役社長	議員 鶴川 詔八  (株)アイブレイン 代表取締役	常議員 福田 雅之  東洋ポリース(株) 代表取締役社長	常議員 岡田 昌之  カナイ石油(株) 代表取締役社長	常議員 清水 哲  清水開発(株) 代表取締役	常議員 柳 明彦  (株)ヤナギ 代表取締役
議員 武田 俊雄  (有)ルバン 取締役	議員 岡部 信一郎  オカベバックス(株) 代表取締役	監事 小林 雅子  小林当織物(株) 代表取締役	常議員 小林 克之  桐生典礼(株) 代表取締役会長	常議員 平澤 操  平澤建設(株) 代表取締役	常議員 石井 謙三  石井経理事務所 所長
議員 田中 桂  桐生中小企業 福祉事業(協) 専務理事	議員 岸田 信克  (株)近江屋書店 代表取締役会長	監事 能澤 孝博  (株)オリエンタル 代表取締役	常議員 小林 康人  (株)沼田屋タクシー 代表取締役	常議員 森 末廣  (株)森エン지니어リング 代表取締役	常議員 石原 照久  石原会計事務所 所長



議員 村田 欽也  村田刺繍所 代表	議員 荒川 智毅  荒川織物(有) 専務取締役	議員 福元 貴裕  (株)LEXTELサンウエ 工場長	議員 新貝 隆一  (有)新貝製作所 代表取締役社長	議員 大西 健太郎  (株)大西ライト 工業所 代表取締役社長	議員 本田 雄郎  (株)ホンダ 代表取締役社長
議員 橘 昌幸  アクサ生命保険(株) 桐生営業所 所長	議員 尾花 靖雄  (株)ユニマーク 代表取締役	議員 八木 橋比佐樹  (株)協和 代表取締役	議員 鈴木 至典  (株)鈴木機械 代表取締役	議員 加藤 貢  加藤鉄工(株) 代表取締役	議員 森 裕美  森産業(株) 代表取締役社長
議員 中島 俊太郎  中島総合 法律事務所 弁護士	議員 栗原 清吉  (株)ユーホー 代表取締役	議員 柳沢 武利  プラスト精工(株) 代表取締役	議員 須藤 純吾  (株)須藤機械 代表取締役社長	議員 栗原 健二  (株)モミモ 代表取締役社長	議員 山崎 達也  メディアアランド・ ウイニング(株) 代表取締役
議員 矢島 雅照  (株)足利銀行 桐生ブロック 統括支店長	議員 澤田 匡宏  丸幸(株) 監査役	議員 山口 晃史  (株)トヨタプロダクツ 専務取締役	議員 田中 義弘  (有)ススキワーバー 代表取締役	議員 酒泉 誠  桐生工業(株) 常務取締役	議員 養田 達人  (株)マルキン 取締役社長
議員 秋山 義則  桐生水道(株) 代表取締役	議員 長谷川 博紀  森秀織物(株) 代表取締役	議員 朝倉 剛太郎  朝倉染布(株) 代表取締役社長	議員 西場 伸一  西場工業(株) 代表取締役	議員 佐羽 宏之  三立応用化工(株) 代表取締役社長	議員 新井 智乙  (有)新井工業 代表取締役



議員 和 田 洋 一  (株)光画社 代表取締役	議員 山 根 明  (株)山根商事 代表取締役社長	議員 鈴 本 章 弘  (有)鈴直モータース 代表取締役社長	議員 岡 部 雅 之  関信ゼベリン(株) 代表取締役	議員 名 村 健 男  協和産業(株) 取締役会長	議員 新 井 茂 男  坂本建設(株) 代表取締役
--	---	--	--	---	---



議員 中 山 賀 司  (株)東和広告システム 代表取締役	議員 萩 野 研 司  (株)両毛システムズ 代表取締役副会長 執行役員	議員 星 野 尚 香  星野管工(株) 代表取締役社長	議員 大 澤 直 也  大澤木工(有) 代表取締役
---	---	---	---



議員 塚 越 隆 史  桐生瓦斯(株) 代表取締役社長	議員 増 田 浩 三  (株)増田コーポ レーション 代表取締役	議員 金 子 昌 弘  金子不動産 代表
議員 川 田 利 雄  (株)桐生旅行 代表取締役	議員 六 本 木 茂 夫  (株)島田組 代表取締役	議員 腰 塚 富 夫  (株)サン建設 代表取締役
議員 木 村 洋 一  (株)桐生タイムス社 代表取締役社長	議員 新 井 哲  太陽印刷工業(株) 代表取締役社長	議員 通 崎 篤  (株)三興 エンジニアリング 代表取締役社長

2022 謹賀新年 元旦

桐生地区 プラスチック工業会 副会長 長松 孝三 〃 〃 〃 〃 〃 新佐宮 森山 島 井羽原 一俊 男 信宏 二 一		桐生地区 勤労対策協議会 副会長 長 稲山 和久 〃 〃 〃 〃 〃 小林 川 雅子 子守 久		桐生機械工業 連合会 副会長 長 山口 正夫 〃 〃 〃 〃 〃 上木 松 津岸 本 一 野村 島 久井 真澄 文好 孝 三 澄 雄正 三 澄 也		桐生商店連盟 協同組合 理事長 長 今川 守 副理事長 山田 秀彦 〃 〃 〃 〃 〃 中多 茂 木 理 亨 村田 和 生 也			
		桐生青色申告会 副会長 長 村田 永昌 〃 〃 〃 〃 〃 役高 大 遠 藤 二 三 男 職員 瀬 澤 安 實 一同		桐生地区産業環境 保全連絡協議会 副会長 長 須藤 忠 〃 〃 〃 〃 〃 新長 須 藤 知 忠 藤 藤 川 一 也		桐生溶接協会 副会長 長 鈴木 啓之 〃 〃 〃 〃 〃 大清水 藤 田 茂 久保 水 英 毅 男		桐生広域 金属プレス工業会 副会長 長 新貝 隆一 〃 〃 〃 〃 〃 副 長 岩崎 研司	
ぐんま警察官友の会 理事長 長 稲山 和久 〃 〃 〃 〃 〃 鎌市 田 川 導 宏 田 川 山 和 久 実 宏 久		桐生商工会議所 女性会 副会長 長 川村 文子 〃 〃 〃 〃 〃 赤高 増 山 村 文 子 石梨 山 村 文 子 美静 江 智 子 紀代 江 智 子		桐生商工会議所 青年部OB会 副会長 長 藤掛 和彦 〃 〃 〃 〃 〃 鈴原 柳 掛 和 彦 木田 掛 明 彦 章 佑 明 彦 弘 武 彦 男		桐生商工会議所 青年部 専務理事 〃 〃 〃 〃 〃 齋新 朝 石 岡 川 養 園 本 崇 藤見 倉 原 田 島 田 正 誠 司 一直 康 晃 蔣 史 人 司 直 広 行 健 知 史 人 司		桐生商工会議所 青年部 専務理事 〃 〃 〃 〃 〃 齋新 朝 石 岡 川 養 園 本 崇 藤見 倉 原 田 島 田 正 誠 司 一直 康 晃 蔣 史 人 司 直 広 行 健 知 史 人 司	
		ファッションタウン桐生 推進協議会 副会長 長 稲山 和久 〃 〃 〃 〃 〃 役今 小 藤 笠 津宮 稲 員川 林 生 原 久地 山 一 雅 五 康 真 由 和 同 守 子 郎 利 澄 高 久		桐生発明協会 副会長 長 根津 紀久雄 〃 〃 〃 〃 〃 大森 塚 越 津 隆 史 木 裕 隆 史 雄 忠 裕 隆 史 雄 行 美 史 雄		桐生発明協会 副会長 長 根津 紀久雄 〃 〃 〃 〃 〃 大森 塚 越 津 隆 史 木 裕 隆 史 雄 忠 裕 隆 史 雄 行 美 史 雄			

以上の団体は会議所館内に事務局を置く関係団体です。

従業員の健康増進

仕事と子育ての両立をサポート

厚生労働省大臣認定 子育てサポート企業
全国健康保険協会登録 生き生き健康事業所
農業用資材販売

三高産業株式会社

群馬県桐生市境野町 7-1860 <https://mitaka-kk.com>
TEL : 0277-43-7181 FAX : 0277-43-5380
mail:info@mitaka-kk.com

まごころ一番
桐生典礼会館

事前相談24時間
承ります

☎0277-55-0101
☎0120-552601

令和3年

桐生商工会議所の歩み

1月

◆7日 例年開催している新春互礼会を中止した。

青年部（園田誠司会長）の創立40周年記念事業で、未来の桐生に影響を与える若者40人を発掘する「FLY KIRYU（フライキリュウ）」がスタート。桐生タイムス紙面で対象者を紹介する連載が始まった。（11／4まで）

◆12日 ものづくりを中心に桐生の地域資源を発信するウェブマガジン「KIRYU Craft Story（キリュウクラフトストーリー）」が公開された。

KIRYU CRAFT STORY

KIRYU CRAFT STORY



クラウドファンディングを初めて活用し、桐生産マスクのテスト販売を行った。スタートの当日中に目標金額を達成し、1週間後には出品した全商品を完了した。

◆21日 女性会（川村文子会長）の新春講演会が開催され、同会理事・相澤千恵子氏が講師を務めた。

2月

◆5日 中小企業基盤整備機構が主催し、当所と桐生市、桐生信用金庫が共催した事業承継・後継者育成ゼミナール「次世代トップリーダー養成講座」が3日間（2／5・17・26）開催された。

◆16日 第26回ファッショントウン桐生写真コンテストの審査会が行われた。最高賞にあたる「推薦」には、藤野茂さんの『からくりの舞台裏』が選ばれた。また、作品展は当所1階ロビーにおいて、3月1日から31日まで開催された。

◆19日 青年部（園田誠司会長）は、講演会「山あり谷あり我が企業」を開催した。

◆26日 当所と産業環境保全連絡協議会（須藤忠会長）の共催で「SDGsを経営にどう活かすか」をテーマに環境セミナーが開催された。

3月

◆3日 当所は令和2年度分の決算書と申告書の作成指導会を2日間（2／3・4）開催した。

◆7日 桐生市制施行100周年・水道創設90周年の記念式典が開催され、榎山会頭が万歳三唱の音頭をとった。

◆18日 桐生産マスクに関する一連の事業活動が、日本商工会議所より表彰された。

◆19日 両毛五市商工会議所協議会の災害時における広域連携支援に関する協定書の調印式が足利市で開催された。

新型コロナウイルス感染症の感染状況・対策などの情報と併せてご紹介いたします。



◆20日 当所嘱託職員が新型コロナウイルスに感染。その後、全職員がPCR検査を行い「陰性」であった。

◆30日 青年部（園田誠司会長）は、地域の子どもたちにお金について楽しく学んでもらおうと、絵本「おかねってなあに？」を桐生市に寄贈した。

◆31日 通常議員総会が開催され、令和3年度の事業計画、各会計収支予算案が決議された。創立80周年記念誌「しらたき 第3集」が完成した。

4月

◆1日 令和3年度がスタート。スローガンは、前年度に続き「めざせ、小さな世界都市」「桐生のまち全体のブランド化を進めよう」、「会員増強2000会員の達成」の3項目。

◆12日 コロナウイルスで影響を受ける事業所への支援体制拡充を目的に、専門相談員2名を配置した。

◆12日 新型コロナウイルスの接種が県内でスタート。

◆14日 建設部会（吉田栄佐部会長）は、部会協議会に桐生市選挙区の群馬県議会議員を招き意見交換を行った。

◆17日 青年部（坂本崇会長）の創立40周年記念事業の一つで、創業者育成プログラム「桐生イノベーションアカデミー」の修了式が開催された。



国際ファッショントウン専門職大学（東京都）の桐生ゼミで、石原専務理事が「桐生産地概要」について、オンライン授業を行った。

◆19日 女性会の通常総会が開催され、役員改選で川村文子氏を会長に再任した。

◆27日 青年部の定時総会が開催され、役員改選で坂本崇氏を会長に再任した。

◆29日 令和3年春の叙勲で山口正夫名誉会頭が旭日小綬章を受章した。

◆30日 第58回桐生八木節まつり（8／3～6開催予定）は、祇園祭とダンス八木節のみを実施する一部開催とする方針が決定した。

5月

◆3日 青年部（坂本崇会長）の新入会員オリエンテーションが開催された。

◆8日 県内の飲食店などに営業時間の短縮等の要請（6／13まで）。

◆16日 県は10市町に「まん延防止等重点措置」を適用し、飲食店などに時間短縮営業や酒類の提供自粛などを要請（6／13解除）。

◆24日 新型コロナウイルスの集団接種会場が太田市に開設。

◆27日 桐生商店連盟協会の通常総会が開催され、今川守副理事長が新理事長に就任した。

◆28日 荒木恵司桐生市長と北川久人桐生市議会議長に対し、緊急提言「新型コロナウイルス感染拡大防止のための体制強化について」を提出した。

6月

◆14日 県内の飲食店などに営業時間の短縮等の要請（6／20まで）。

◆17日 新型コロナウイルスの集団接種会場が高崎市のGメッセに開設。

◆22日 通常議員総会が開催され、令和2年度事業報告並びに各会計の決算案が上程され、いずれも原案通り承認された。



◆25日 環境先進都市推進委員会（田中榮一委員長）は、群馬大学学院・天谷賢児教授を招き、「ゆつくりズムのまち桐生」宣言について学んだ。

◆30日 群馬県商工会議所連合会は山本一太知事あてに「Gメッセにおける新型コロナウイルスワクチン接種の中小企業枠の設置」を要望した。新たな顕彰制度「小さな世界都市桐生大賞」の募集が締め切れ、応募・推薦は14件だった。大賞は2月25日に開催予定の当所創立80周年記念式典で発表される。

7月

◆3日 桐生少年少女発明クラブの令和3年度開講式が開催された。

◆7日 正副会頭、専務理事が桐生地域の産業振興と活性化につなげるため、重要課題を各部会・委員会と協議し集約した24案件の政策提言要望書を荒木恵司桐生市長と北川久人桐生市議会議長に提出した。



◆21日 群馬県商工会議所連合会と群馬県商工会連合会、群馬県中小企業団体中央会の商工3団体は、群馬県選出の国会議員と、最低賃金をめぐる意見交換会を開催した。

◆23日 1年延期された東京オリ

ピックが開幕（8／8開幕）。
◆29日 女性会（川村文子会長）は納涼懇親会として野間清治資料館の見学会を開催した。

8月

◆2日 井野俊郎衆議院議員に12案件の政策提言要望書を提出した。

◆7日 県内の飲食店などに営業時間の短縮等の要請（9／30まで）。

◆8日 正副会頭・6部会長と桐生市議会経済建設委員会との意見交換会が開催された。

◆8日 県は桐生市を含む20市町「まん延防止等重点措置」を適用し、飲食店などに時間短縮営業や酒類の提供自粛などを要請（8／19解除）。

◆10日 群馬県内の感染者数が1万人を超える。

◆12日 桐生市内の感染者数が500人を超える。

◆20日 2度目の緊急事態宣言が発令され、酒類を提供する飲食店などに休業を要請（9／30解除）。

◆21日 桐生八木節まつりの主催事業である「ダンス八木節」が、新型コロナウイルスの感染拡大により中止された。

◆23日 当所が群馬県に申請した新型コロナウイルスの団体接種で、会員事業所の従業員ら691人がGメッセ群馬にて1回目の接種を終えた。

◆24日 東京パラリンピックが開幕（9／5開幕）。

9月

◆10日 第62回群馬県商工会議所議員大会が2年ぶりに前橋市で開催。出席者は各会議所の会頭と専務理事のみに限定された。

◆15日 当所主催による講習会「ウェブ販売における、コンプライア

スの基礎知識」を開催した。
◆21日 「桐生クラフト」のブランド化を目指す検討会議を開催。正副会頭と関係機関・団体の役員らが出席した。

◆28日 常議員会を会場とオンラインをつなぐハイブリット方式で初めて開催した。

◆29日 コロナウイルスで影響を受ける事業所への支援体制拡充を目的に、専門相談員1名を追加配置した。

10月

◆1日 県内の飲食店などに営業時間の短縮等の要請（10／7まで）。

◆8日 県内の飲食店などに出されていた営業時間の短縮等の要請が、約2か月ぶりにすべて解除された。

◆16日 第63回桐生市発明考案展覧会が2日間（10／16・17）開催された。

◆17日 青年部（坂本崇会長）の創立40周年記念事業のメイン企画「イノベーションエキスポ」のビジネスプラン発表会が開催され、22人が登壇し地域活性化のためのビジネスプランやまちづくり策をプレゼンした。



◆26日 青年部（坂本崇会長）の臨時総会が開催され、次年度会長に新見直広副会長が選任された。

◆29日 第25回桐生ファッションウィーク（星野麻実実行委員長）が2年ぶりに開催（11／7まで）。約20イベントが参加し、秋の桐生を彩った。

11月

◆1日 桐生市がプレミアム率50%の「第2弾桐生応援プレミアム商品券」を販売した。

◆4日 2月4日に逝去された、株ミツバの前会長で当所役員も務めた日野昇氏のお別れの会が開催された。

◆6日 第63回桐生市発明考案展覧会の表彰式が開催された。

◆10日 女性会（川村文子会長）の視察研修が市内見学会として開催された。

◆11日 当所と桐生信用金庫、桐生市など7団体が共催する第13回令和3年度ビジネスマッチングフェアが開催された。132ブースが出展し、約1900人が来場した。



荒木恵司桐生市長と森山亨大副市長を招き、正副会頭との懇談会を開催した。

◆19日 令和4年度の税制改正に向けた重点要望5項目を、井野俊郎衆議院議員に陳情した。

当所主催による講習会「非対面型で効果的な販路を開拓するための、SNSチェックリスト100」を開催した。

◆14日 青年部（坂本崇会長）の森の映画会が鳳仙寺本堂で開催された。

◆20日 2月18日に逝去された、元群馬大学名誉教授の宝田恭之氏を偲ぶ会が開催された。

◆24日 両毛五市商工会議所協議会主催の「関東経済産業局長との懇談会」を、当所の主管により開催した。



商業部会（鍾田実部会長）の視察研修が開催され、福島県会津若松市などを訪問した（11／24・25）。

青年部（坂本崇会長）の経営勉強会が開催され、伊藤久夫社長が講演した。

12月

◆10日 当所と桐生信用金庫、桐生市が共催する海外展開支援セミナーが開催された。

◆13日 日本航空㈱による越境EC事業の事業者向け説明会を桐生市と共催で開催した。

※記載されている役職名は当時のものです。新型コロナウイルス関連の情報は12月17日現在のものです。

両毛市ネットワーク



会頭年頭あいさつ



両毛五市（足利・佐野・館林・太田・桐生）の商工会議所では、協議会を設け様々な共同事業を実施して地域の交流を図るとともに連携を深めている。新年にあたり、各地商工会議所会頭の年頭所感の中から令和4年の重点事業、重点項目などを抜粋し紹介する。（桐生は一頁の粗山会頭挨拶を参照）

足利



足利商工会議所
会頭
相馬 稔

両毛五市商工会議所会員の皆様、明けましておめでとう

ございます。

昨秋以降、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少し、各地の社会経済活動にも一定の動きが見られるようになりましたが、長引くコロナの影響、原材料・部品等の遅延や価格の高騰など、企業活動は依然として厳しい環境を余儀なくされています。

足利商工会議所では、毎月発行している会報「友愛」や1日4回計2時間放送しているCATVわたらせテレビの「足利商工会議所ニュース」で、国県市等の各種施策を詳細に紹介するなど年間を通して会員事業所の支援に全力を傾注しました。

今年は、当所の基本理念である「人づくり」「モノづくり」「まちづくり」事業を基軸としながら、ウィズコロナにおいては、安全・安心を確保し「どうしたらできるか」「何をやるか」を考え、アフターコロナにおいては、経済・社会環境の変化に対応した事業の展開を図れるよう支援するなど会員事業所及び地域

域経済発展とため活動してまいります。

両毛五市商工会議所が一層連携を強めることで地域全体の活力と発展につながることをご期待申し上げ、新年の挨拶といたします。

佐野



佐野商工会議所
会頭
吉澤 慎太郎

両毛五市商工会議所会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、年明けから4度にわたり緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルス感染症が、企業活動に大きな影響を与え、地域経済を取り巻く環境は極めて厳しい状況にありました。

このような状況において、佐野商工会議所では、感染防止と経済活動の両立を目指し、各事業所に適した支援メニューを提案し、事業所に寄り添いながら、ウィズコロナ・アフターコロナにおける事業継続・再建に向けて全力で取り組んでまいります。

また、今年は、長期ビジョンで定めた、「中期行動計画」

の最終年度にあたります。

この計画に基づき、地域経済の活性化を関係機関と連携しながら、会員事業所の経営課題やニーズに対しきめ細かな支援を行い、執行体制の強化を図ってまいります。

結びに、皆様の御健勝と企業の御発展、そして、令和4年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

館林



館林商工会議所
会頭
正田 隆

新年あけましておめでとうございます。両毛五市商工会議所会員の皆様におかれましては、令和4年の新春を少しホッとした気分でお迎えの事と存じます。

今年の干支は壬寅（みずのえとら）です。「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。ウィズコロナからポストコロナへの転換の年ではないでしょうか？

そこで、今年は会員の皆様とのコミュニケーションに力を入れたと思います。

まず手始めに、広報活動の強化として「商工たてばやし」の全面カラー印刷化及び紙面の充実、相談窓口機能を強化した「ホームページ」のリニューアルを実施します。

また、次世代育成、販路拡大として高校や大学等とコラボし会員会社の保有する技術や製品を使った、新製品開発などにもチャレンジしたいと思っています。

結びに、本年が両毛五市商工会議所会員の皆様にとって健康で実り多い年となることをご祈念申し上げます。

太田



太田商工会議所
会頭
加藤 正己

新年明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え両毛五市商工会議所会員の皆様へ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、一昨年と同様に「新型コロナウイルス感染症」の蔓延・拡大の猛威に晒された1年でした。会員事業所におかれましては大変厳しい事業活動等を強いられた日々であったもののご推察申し上げます。



ます。
さて、今年の課題はコロナ禍に起因する「社会経済・生活様式の変容対応」と「脱炭素に向けた取組み」そして「自然災害BCP対策」だと捉えています。
今年こそ会員事業所の課題克服に向け『役に立ち・頼りにされる会議所』を基本理念とし、諸活動を展開することです。
「克服から飛躍への序章の年」にしていく覚悟であります。

「再商品化委託申込」受付中 2月10日まで

商工会議所では「容器包装リサイクル委託申込み」の受付を行なっています。

法律に基づき「特定事業者」に該当する方は手続きが必要となります。義務を怠ると罰則適用に至りますのでご留意をお願いいたします。

(1) 容器や包装を利用して中身を販売する事業者

(2) 容器を製造する事業者

(3) 容器や包装が付いた商品を生産して販売する事業者
事業規模や素材など免除要件がありますので、ご不明点はお早めにご確認ください。

家庭から出るごみの約6割が、商品に付加される「容器」や「包装」です。義務を果たすことで循環型社会の実現に貢献いただけます。

▼申込期限 令和4年2月10日（木）

▼委託申込は、当所工業課まで（TEL 0277・45・1201）

▼特定事業者の判断等は、（公財）日本容器包装リサイクル協会コールセンターまで（TEL 03・5251・4870）

▼容器包装リサイクル法詳細は、ウェブをご覧ください。
（<http://www.jcpra.or.jp/>）

学部大理工部「PBL教育」企業実習への参加企業募集の案内

群馬大学理工学部では、学生の実践的な問題解決能力を育成する新たな教育プログラムである「PBL教育」を令和4年度から開始します。

PBL教育では、小人数の学生グループが企業を訪問し、短期間の実習を行います。

PBL教育を通じて、実践力の高い学生が育成されるほか、企業の皆様と群馬大学との連携強化や、学生に対する企業情報の発信、事業への学生のアイデアの取込などが期待されます。企業実習への参加企業を募集します。

群馬大学理工学部が実施するPBL（Problem Based Learning）教育とは

▽PBL教育の概要 企業で働くことの最低限のマナーや企業の現状及び課題などを座学やグループ学習により把握します。さらに、企業などの実際の職場の見学や就労体験を行う機会（企業実習）を設け、すべての学生が実社会の活動における課題について自主的に把握できるようにします。

▽PBL教育の流れ ①

①座学（令和4年4月～8月）
・IoT、イノベーション創発、課題解決に関する講義を群馬大学が実施。

②企業実習（令和4年8月中旬～9月上旬）
・参加企業において学生グループの訪問を受け入れ、見学や就労体験を実施していただきます。

③成果発表会（令和4年9月中旬）
・学生が、訪問企業情報や実習結果などを学内で発表。

企業実習の概要（予定）

▽受入人数 2学生を小人数のグループに分けて派遣（人数は調整中）。

▽受入グループ数 2協力参加企業様の希望を伺いながら、調整させていただきます。

▽受入時期 令和4年8月中旬～9月上旬

▽受入日数 3日間

▽実施内容 2月頃に協力参加企業様を対象とした説明会を開催して、説明予定です。

※オンライン（ZOOM）で開催予定。

企業実習への参加申し込み

▽申し込み方法 企業実習にご協力いただける（ご興味のある）企業様は、1月31日（月）までに、以下の必要事項

項をご記入頂き、FAXまたはEメールにて、ご連絡をお願いいたします。

①企業名

②所在地

③ご担当者連絡先（お役職、氏名、電話番号、Eメールアドレス）

※鋳工業、建設業、情報通信、商業、サービス業、官公庁など、業種や事業規模を問いません。

※2月の説明会を聞いていただいた後に、参加可否の最終判断をしていただきますので、本申込の時点では企業実習への参加を確約していただく必要はありません。

※PBL教育の推進には、数多くの企業の皆様のご協力が必要です。是非、ご検討、お問合せください。

▽申し込み先 群馬大学理工学部 榎（たて）

FAX 0277・30・1041

E-mail: m-tate@jimu.gunma-u.ac.jp



群馬県よろず支援拠点

よろず 出張 相談会

開催の
お知らせ

群馬県よろず支援拠点は、県内の中小企業・事業所の方々のための経営総合相談窓口です。課題をお持ちの事業所の方々に寄り添いながら全力でお手伝いします。

開催日 1月21日(金)

時間 午前の部／9時～12時
午後の部／13時～16時

*ご相談は1社1時間程度、予約制です。

会場 桐生商工会議所 2階 相談室

申込・問合せ 桐生商工会議所（商業課） ☎0277-45-1201まで

- 趣味のお菓子作りを活かしてカフェを開業したい！
- 工場の現場改善『5S』に取り組みたい！
- 実店舗の他に、ホームページでも販売したい！
- 事業承継のアドバイスが欲しい！
- 補助金を活用したいが、申請の仕方を教えてほしい！
- パッケージを変更して、もっと売れるデザインにしたい！

全日本製造業コマ大戦 桐生場所

参加者・チーム募集!!

3/5
土

全国の中小製造業はもちろん、大学や工業高校の学生の方など、製造技術のプライドをかけ参加する大会です！

コマは直径20mm以下、全長60m以内であれば材質、重さ、形に制限はありません。

申込期限：1月31日

申込み・問合せ 桐生商工会議所 TEL.0277-45-1201

※詳細は本誌同封の折込チラシ・当所HPをご覧ください。



令和4年度

高齢者活躍企業コンテスト ご案内

働くことを希望する高齢者が、年齢にかかわらず生涯現役でいきいきと働けるための職場づくり（雇用管理や職場環境改善）の創意工夫事例を募集中です。

応募資格 高齢者が65歳以上になっても働ける制度を導入していることや、その他労働関係法令に関して重大な違反のない企業など

応募締切 令和4年3月31日(木)

応募先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
群馬支部 高齢・障害者業務課
〒379-2154 前橋市天川大島町130-1 TEL.027-287-1511

※応募に関する詳細は、当機構のホームページをご覧ください。
(URL) https://www.jeed.go.jp/elderly/activity/r3_koyo_boshu.html

主催 厚生労働省、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
(高齢者雇用に関する各種助成金についてもご活用ください)

令和4年度

障害者雇用納付金制度 事務説明会

障害者雇用納付金等申告・申請説明会を開催しますのでご参加ください。

★日程

〈納付金・調整金説明会〉いずれの日も「対象者」を変え「午前」「午後」の2回開催します。
第1回／2月3日(木) (高崎) 第4回／2月24日(木) (太田)
第2回／2月10日(木) (太田) 第5回／3月3日(木) (前橋)
第3回／2月16日(水) (高崎) 第6回／3月10日(木) (高崎)

〈開催時間／対象者〉

10:00～12:00 / 申告申請経験者
13:30～16:00 / 初めての担当者

〈報奨金説明会〉

3月17日(木)
10:00～12:00 (前橋)

★会場

高崎：ポリテクセンター群馬 太田：太田市学習文化センター
前橋：〈納付金・調整金〉群馬県JAビル
〈報奨金〉群馬障害者職業センター（ハローワーク前橋3階）

お申込・お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
群馬支部 高齢・障害者業務課
TEL.027-287-1511

事業資金・経営課題の解決に関することは

群馬県信用保証協会

桐生支店 TEL.0277-43-6211

HPアドレス <https://gunma-cgc-or.jp/>

経営者のみなさまぜひ導入のご検討を！ 従業員さま・職員さま向け優遇サイト

詳しくは
こちら
のQR
コード
を
ご
覧
下
さい



お申込をいただいた企業や団体の従業員さま・職員さま向けサイトで、「ローンの金利優遇」や「グルメクーポンの発行」などの特典が受けられます。職場の魅力度アップや福利厚生の一環として導入をご検討ください。

PCからは「優遇サイト」で検索

お問合わせ 群馬銀行ダイレクトセンター

☎0120-13-9138

受付時間 9:00～20:00 (土・日・祝休日、12/31～1/3を除く)



群馬銀行

1月無料相談会

開催のお知らせ

- 働き方改革無料相談……………1月13日(木)・27日(木) 午後1時～午後3時30分 当所相談室
- 行政書士なんでも手続き相談…1月14日(金) 午後6時30分～午後8時 当所4階 406号室
- 特許発明相談……………1月21日(金) 午後1時30分～午後3時30分 当所4階 406号室
- よろず出張相談会……………1月21日(金) 午前9時～12時／午後1時～午後4時 当所2階 相談室
- 法律相談……………随時予約を受け付けます(連絡先: 桐生商工会議所 Tel.0277-45-1201)

※事前予約が必要となります。

会議所会館 年末年始休業のお知らせ

桐生商工会議所の年始の業務は、1月3日(月)まで休ませていただきます。会議所会館は1月4日(火)から開館いたしますので、宜しくお願い申し上げます。

※1月4日からは平常業務となります。(業務時間: 午前8時30分～午後5時15分)

新入会員の紹介

ご入会ありがとうございました。
(令和3年11月13日～12月17日現在)
(順不同・敬称略)

部 会	事 業 所 名	代 表 者	業 種	住 所
商 業	(株)マイティー	藤 原 紀 三	小売	相生町
商 業	(株)オーガニックフーズライフ	村 木 秀 次	食品製造業	永楽町
商 業	うさぎとねこ	高 澤 さち子	手芸教室	広沢町
商 業	The Sticks	立 澤 宏 和	飲食業	相生町

特別会員の紹介

部 会	事 業 所 名	代 表 者	業 種	住 所
建 設	(株)キクチ	菊 地 宏 和	建設業	太 田 市
工 業	(株)協栄製作所	黒 島 淳 一	製造業	みどり市
環境・生活	Agane3°(アガネサンド)	阿 部 琴 美	飲食業(キッチンカー)	伊勢崎市



わかりやすい! つかいやすい!
オンラインストレージ



W コワークストレージ

回線認証でさらに安心!

お問い合わせ先 TEL.0120-027-606

【受付時間】9:00-17:00(土日・休日・年末年始を除く)

K21-3006【2201-2201】

▲詳細はこちら



株式会社 両毛ビジネスサポート



地域の未来を支える。
Support the future of the region.

情報管理業務支援ソリューション
水道業務支援ソリューション
行政事務支援ソリューション



Taiyo
Printing Industry Co., Ltd.

あなたの街の印刷屋さん…

太陽印刷工業株式会社

本 社: 群馬県桐生市三吉町2丁目7-53 TEL.0277-45-2016 FAX.0277-45-2024
太田営業所: 群馬県太田市小舞木町636 TEL.0276-46-6512 FAX.0276-46-6659

様々な工事を通して安心と住み良い環境づくりへ

定伸工業(有)

Teishinkougyo Inc.

大型ドライバー・土木スタッフ随時募集中

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町6-157-1
TEL.0277-52-4729 FAX.0277-52-4820

http://www.teishin-kougyo.com/
info@teishin-kougyo.com



株式会社 **サンフード** ●事業本部●
みどり市笠懸町鹿5-3
TEL.0277-76-8187

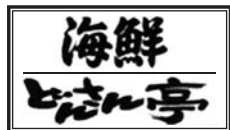


相生店 52-9700
新宿店 22-4129

安さがおいしい
楽しさがおいしい



新宿店 46-4129



新宿店 46-5222



本町店 22-8855

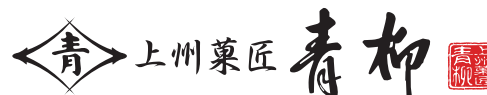


桐生店 32-3008



青柳ノコギリ屋根店

近代化産業遺産（青柳本社）



本社 桐生市東7-3-62 ☎ 0277-46-7098
本店 桐生市本町5-364 ☎ 0277-22-0303
ノコギリ屋根店 桐生市東7-3-62 ☎ 0277-45-2120
桐生相生店 桐生市相生町2-837 ☎ 0277-53-8771
みどり笠懸店 みどり市笠懸町阿左美591-4 ☎ 0277-30-8165
太田西本町店 太田市西本町5-35 ☎ 0276-52-8684
太田二ツ本町店 太田市新田市新井町592-13 ☎ 0276-57-2851
前橋元総社店 前橋市元総社町2468-1 ☎ 027-254-3343
伊勢崎連取店 伊勢崎市連取町3336-7 ☎ 0270-75-4820



ALL FOR SMILE

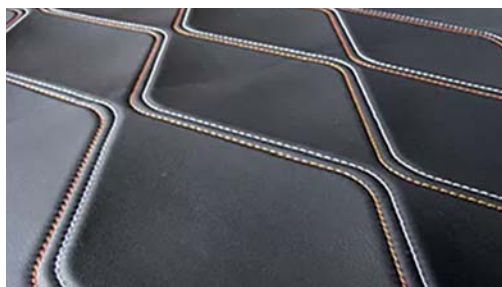
～ すべては笑顔のために ～

 **桐生信用金庫**



KASAMORI
KIRYU
SINCE 1877

伝統とは、新しい挑戦の積み重ねから生まれるものだ。
www.kasamori.co.jp



◆大型電子ミシンによる縫製サンプル
500mm×1000mmの大きさに様々なデザインで縫製できます。

ISO9001：2015 認証取得
自動車シート及び内装部品 製造

KIRYU Sewing

株式会社 桐生ソウイング

取締役会長 藤生 五郎

〒379-2302 群馬県太田市山之神町505-1
TEL.0277-46-6115 FAX.0277-46-6115